2次方程式の解と係数の関係

2次方程式 $ax^2 + bx + c = 0$ の 2 つの解を α, β とすると、 $\alpha + \beta, \alpha\beta$ は次のようになる

解と係数の関係 —

$$\alpha + \beta = \underline{\hspace{1cm}}, \quad \alpha\beta = \underline{\hspace{1cm}}$$

[証明]

 α, β をそれぞれ $\alpha =$ _______とおく。

$$\alpha + \beta = \frac{-b + \sqrt{b^2 - 4ac}}{2a} + \frac{-b - \sqrt{b^2 - 4ac}}{2a} = \underline{\hspace{1cm}} = \underline{\hspace{1cm}}$$

$$\alpha\beta = \frac{-b + \sqrt{b^2 - 4ac}}{2a} \cdot \frac{-b - \sqrt{b^2 - 4ac}}{2a} = \underline{\hspace{2cm}} = \underline{\hspace{2cm}} = \underline{\hspace{2cm}} = \underline{\hspace{2cm}}$$

このように、2次方程式の2つの解の和と積は、その係数を用いて表すことができる。

これを2次方程式の解と係数の関係という

※この関係は $\alpha = \beta$ のとき、つまり解が重解のときにも成り立つ。

memo

[例 7]

2次方程式 $3x^2-5x-6=0$ の 2 つの解を α,β とすると

 $\alpha + \beta = \underline{\hspace{1cm}} = \underline{\hspace{1cm}}, \qquad \alpha \beta = \underline{\hspace{1cm}} = \underline{\hspace{1cm}}$

練習 11

次の2次方程式について、2つの解の和と積を求めよ。

(1)
$$x^2 + 3x - 5 = 0$$

$$(2) -3x^2 + 7x - 4 = 0$$

(3)
$$3x^2 + 2 = 0$$

← 練習 11 解答欄 ← ← ← ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
解と係数の関係を利用した問題
[例題 4]
2 次方程式 $x^2+2x+3=0$ の 2 つの解を α,β とするとき, $\alpha^2+\beta^2$ の値を求めよ。
解答 ————————————————————————————————————
解と係数の関係から $\alpha+\beta=$
よって $\alpha^2 + \beta^2 = (\alpha + \beta)^2 - 2\alpha\beta = (-2)^2 - 2 \cdot 3 = -2$
練習 12
2 次方程式 $x^2-3x-1=0$ の 2 つの解を α,β とするとき, 次の式の値を求めよ。
(1) $\alpha^2 + \beta^2$
(2) $\alpha^3 + \beta^3$
(2) のヒント: $\alpha^3 + \beta^3 = (\alpha + \beta)^3 - 3\alpha\beta(\alpha + \beta)$ を使って解く
練習 12 解答欄 ———————————————————————————————————

コラム ~2 次方程式の解と係数の関係の別の証明方法~

2次方程式の解と係数の関係の公式は以下の方法でも証明が出来る。

[証明]

2次方程式 $ax^2 + bx + c = 0$ の 2 つの解を α, β とすると、

$$ax^2 + bx + c = a(x - \alpha)(x - \beta)$$
 となる。

右辺を展開すると,

(右辺)=
$$a\{x^2 - (\alpha + \beta)x + \alpha\beta\} = ax^2 - a(\alpha + \beta)x + a\alpha\beta$$

ここで両辺を係数比較すると

$$\begin{cases} b = -a(\alpha + \beta) \\ c = a\alpha\beta \end{cases}$$

 $a \neq 0$ なので

$$\begin{cases} \alpha + \beta = -\frac{b}{a} \\ \alpha \beta = -\frac{c}{a} \end{cases}$$
 [終]

この証明方法を利用すると3次以上の方程式の解と係数の関係を証明することが出来る。

[証明]

3次方程式 $ax^3 + bx^2 + cx + d = 0$ の解を α, β, γ とすると,

$$ax^3 + bx^2 + cx + d = a(x - \alpha)(x - \beta)(x - \gamma) = a\{x^3 - (\alpha + \beta + \gamma)x^2 + (\alpha\beta + \beta\gamma + \gamma\alpha)x - \alpha\beta\gamma\}$$

ここで両辺を係数比較すると

$$\begin{cases} b = -a(\alpha + \beta + \gamma) \\ c = a(\alpha\beta + \beta\gamma + \gamma\alpha) \\ d = -a\alpha\beta\gamma \end{cases}$$

 $a \neq 0$ なので

$$\begin{cases} \alpha + \beta + \gamma = -\frac{b}{a} \\ \alpha \beta + \beta \gamma + \gamma \alpha = \frac{c}{a} \\ \alpha \beta \gamma = -\frac{d}{a} \end{cases}$$
 [38]